

平成 30 年度 事業計画

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成 30 年度 事業計画

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

当社は、平成 21 年度の事業開始以降、会員の皆様とともにエリアマネジメント活動を実践しており、地区の課題等を認識しつつ、着実に事業を推進してきました。今後も当地区の更なる発展に繋げていくため、引き続き会員の皆様とともに「街をつくり・育てる」取組みを遂行していきます。

1 事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメントを推進しています。

- (1) エリアマネジメント推進事業
 - ア 街づくり調整事業
 - イ 環境対策事業
 - ウ 文化・プロモーション事業
 - エ その他事業（会員交流事業）
- (2) 横浜都心電波対策事業
- (3) 広告・イベントスペース等運用事業

2 社員総会及び理事会の開催

- (1) 社員総会
 - 定時社員総会を 6 月に開催します。
- (2) 理事会の開催
 - 定例理事会を年 3 回開催します。（6 月、11 月、3 月）

3 事業概要（詳細は次頁以降に記載しています。）

平成 30 年度は、「防災対策」、「環境対策」、「まちの魅力発信」の 3 つを重点分野としてまいります。

「防災対策」：29 年度に策定した「都市再生安全確保計画」を踏まえ、国土交通省の「都市再生安全確保促進事業」補助金を活用しながら、帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化などについて、防災エリマネ推進委員会での議論を中心に進めます。

「環境対策」：みなとみらい 2050 プロジェクトにおけるこれまでの議論の蓄積を生かし、パーソナルモビリティ実証実験を進めるとともに、情報発信拠点（フューチャーセンター等）についての検討を進めます。また、水環境向上に向けては、汽船道での実験で得た成果を踏まえ、海に面する地区の魅力を発信しながら新たな取組を具体的に進めます。

「まちの魅力発信」：東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人のホスピタリティ向上に資する取組を一層進めるとともに、地区イベントとして大手アニメーション会社とのタイアップを実施するなど、みなとみらい 21 地区の魅力を効果的に発信します。

そのほかにも、横浜都心電波対策事業の適切な実施、広告・イベントスペース等運用における収益の向上、会員交流の促進につながる取組といった幅広い分野において、会員の皆様のニーズを踏まえながら、積極的な事業を展開して参ります。

街づくり調整事業

29,400 千円

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。また、取組内容の情報発信にも取り組みます。

安全・安心な街づくり

みなとみらい21地区における地震対策の推進

8,000 千円

【 企画調整部・総務部 】

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区の災害に強い街としての強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靱で『安全・安心な街』の実現を目指します。

平成30年度は、引き続き「みなとみらい21防災エリアマネ推進委員会」において検討を進め、29年度に策定した『都市再生安全確保計画』を踏まえ、帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化等を進めます。

帰宅困難者受入対策等の推進

帰宅困難者を受け入れる当地区独自の仕組みである『帰宅困難者一時滞在施設登録制度』について、横浜市と緊密に連携を図りながら運用を進め、登録施設の拡充等を図ります。

情報受伝達体制の強化

災害時の地区内の各施設や行政機関等を連絡する情報受伝達体制の強化に向け、引き続き、複数の伝達手段の確保に向けた検討を進めます。

このうち、横浜みなとみらい21のホームページに開設している『会員用災害時掲示板』については、29年度より使い勝手のよいシステムに改良を図りましたが、情報受伝達訓練の実施などにより普及・定着を図りながら、更なる改良に向けた検討を進めます。

災害時行動ガイド及び帰宅困難者支援ガイドの更新・発行

災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応のマニュアルとして取りまとめた『災害時行動ガイド』の運用・周知を図るとともに、より充実した内容とするための更新を図ります。

また、帰宅困難者支援ガイド（防災マップ）についても、帰宅困難者一時滞在施設の新規登録の状況等を踏まえ、更新・発行を図ります。



< 災害時行動ガイドと帰宅困難者支援ガイド >

合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、防災エリマネ推進委員会の活動と連動、検討成果を反映しながら、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

< 参考：訓練内容 >

- ・情報受伝達訓練（含会員用災害時掲示板）
- ・津波避難訓練
- ・帰宅困難者受入訓練
- ・負傷者搬送及び応急手当訓練
- ・屋内消火栓放水訓練及び消火器訓練
- ・災害用地下給水タンク操作訓練
- ・起震車体験訓練
- ・車いす乗車体験及び車いす搬送訓練
- ・煙通路体験訓練



< 帰宅困難者受入訓練 >

来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

みなとみらい21街づくり状況の各種調査

2,500 千円

【 企画調整部 】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

みなとみらい21地区における交通対策等の検討

6,500 千円

【 企画調整部 】

地区内の利便性、回遊性向上による賑わい創出等に向けた交通対策の検討を行います。

街区開発の急速な進展や大規模集客施設の立地計画等を踏まえ、横浜市と連携して、歩行者の将来交通量推計調査を実施し、安全で快適な歩行者環境を確保するための課題整理、必要な対応策等の検討を進めます。

駐車場案内システム協議会の運営

【 企画調整部 】

平成29年度に引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

街づくりの誘導・調整、情報発信

みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

3,500千円

【企画調整部】

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定の見直しにも着手し、戦略的な街づくりを進めるための方策について、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら検討を行います。

「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

3,000千円

【企画調整部】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション(冊子)」等を制作します。インフォメーションを27年度に、映像を28年度に大幅に刷新していますが、30年度は冊子の改訂を行うほか、マスタープランのデータ更新等を行います。

エリアマネジメント活動助成事業

3,400千円

【事業推進部】

当地区内でエリアマネジメントに資する活動を行う団体を募集し、有識者による選考委員会と会員企業による公開選考委員会の審議を経て、資金を助成する活動団体を決定し、助成します。最大50万円まで助成可能な「みらいコース」とより応募し易い最大5万円までの小額助成コース「みなとコース」を設け、新規応募者の開拓を進めています。

また、平成29年度に採択した助成団体が活動成果について発表し、相互に交流するための場として、助成活動成果報告会を開催します。

<参考：30年度 助成団体と提案概要>

みらいコース

団体名【事業名】	提案概要
みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会 【みなとみらいでポニーと遊ぼう！】	幼児と小学生低学年を対象に、ポニーの乗馬体験、紙芝居や餌やりなどのふれあいを通じた動物介在幼児教育を住民主体で実施
NPO法人ハマのトウダイ 【ハマのパークキャラバン2018 みなとみらい】	公園において、ペットとともに防災宿泊体験会を実施。また、公園でのアウトドア会議室体験を実施。
つながるハマベビプロジェクト実行委員会 【つながるハマベビ 駅前レンタルベビーカー事業】	みなとみらい馬込近隣においてベビーカーの無料貸出を実施し、公共交通機関で移動する子供連れのエリア内の移動をサポート。
NPO法人ミニシティ・プラス 【MM21 ジュニア編集局】	子ども・青少年目線からみたMM21の街の魅力を発信する地域メディアを創設。子どもたちの取材活動や情報発信を通し、地区内企業および行政等との交流を実施。
NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 【MM地区のソーシャル活動を創るローカルグッドカフェ】	地域の社会活動の活性化を目的に、在住者、在勤者、学生の対話の場を設け、地区内の社会貢献活動や地域の課題、CSR活動、SDGsについてオンラインで発信。

まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会 【まちが人をそだてるプロジェクト】	ボランティアや社会地域活動をしたい青少年を対象に気軽に参加できるボランティアの機会を提供。街案内や清掃活動、英語マップ・冊子の作成等を通して青少年の地域参加サポートを実施。
NPO 法人 全日本育児普及協会 【紙芝居 × 防災】	防災紙芝居を作成し、地区内の保育園や公共空間、商業施設等において親子を対象に読み聞かせや防災講座を実施。

街づくり調整委員会（部会）の開催

100 千円

【 企画調整部 】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

全国エリアマネジメントネットワークへの参画

400 千円

【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

平成 28 年度に発足した全国エリアマネジメントネットワークの諸活動に参画するとともに、全国の各団体と交流を図るなど、エリアマネジメント活動を進化させます。

みなとみらい2 1 地区の土地の公募業務

土地公募業務

2,000 千円

【 企画調整部 】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、事務局としての業務とともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会を開催します。

環境対策事業

28,600 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

スマートなまちづくりの実現に向けた取組

みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、地区内関係者や横浜市・大学などと連携して、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

また、この地区における環境への取組について、積極的に情報発信を行います。

みなとみらい2050プロジェクトの推進

5,000 千円

【 企画調整部 】

みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、これまでの検討や成果を活かしながら、地区内関係者や行政・大学等の関係者と連携して、29年度に引き続き、パーソナル・モビリティの実証実験などの取組を進めます。

また、29年度に引き続き、情報発信拠点（フューチャーセンター等）について検討を進めます。

水環境向上及び生物多様性に関する取組

9,000 千円

【 企画調整部 】

平成26年3月から「きれいな海づくり」を目指し、自動車道沿いの護岸に「実験場」を設置し、「水環境向上及び生物多様性」に関する実証実験を実施し、覆砂やアマモの育成により、生物の生息環境を整える取組を行っています。29年度は3カ年半に及ぶ本事業の成果報告会を開催し、関係者と成果等の共有を図りました。さらに、これまでの成果を踏まえつつ、学識経験者・専門家、地区内関係者、行政関係者等と意見交換を行いながら、当地区における水環境向上・生物多様性に向けた展開方策の検討を進めました。

平成30年度は、この検討結果を踏まえ、海に面する地区の魅力を積極的に発信しながら新たな取組を具体的に進めます。



< 水環境向上・生物多様性観察会 >

『緑・花』推進に関する取組

9,000千円

【企画調整部】

みなとみらい21地区における『緑・花』推進をさらに充実させるために、平成29年度に引き続き、横浜市と連携して、現状把握・課題整理を行うとともに、地区内関係者が継続して『緑・花』推進に取り組むための仕組みづくりや実施方策のとりまとめを行うとともに、具体的な実施を図ります。

さらに、『全国都市緑化よこはまフェア』の開催等を契機とする緑・花への関心の高まりを受け、『緑・花』を親しみ育てる気運を一層醸成するための啓発イベント等を横浜市と連携して実施します。（「ガーデンネックレス横浜2018」との連携等）



< まちかどの緑：横浜美術館横 >



< まちかど花壇 クイーンモール橋 >

地域緑のまちづくり事業

500千円

【企画調整部】

みなとみらい21地区3つの区域に分けて協議会を立ち上げ、「地域緑のまちづくり事業」に取り組んできました。このうち、中央地区は28年度、新港地区は29年度で終了しましたが、横浜駅東口・中央地区においては、引き続き横浜市からの助成を受け、地域緑化計画に基づく民有地緑化整備等を進めます。

<参考>

- ・25年度設立 横浜東口・中央地区 みなとみらい大橋等の緑化計画



< こどもアドベンチャー観察会 >



< 新港地区 花時計 >

環境意識の啓発に向けた取組

身近なエコ活動の実施、検討

5,000 千円

【 企画調整部 】

みなとみらい21地区ならではの特色があり、多くの会員が参加できるイベント等の各種活動を展開します。

平成30年度は、引き続き「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動を推進するなど、環境意識の向上を図ります。

環境対策委員会（部会）の開催

100 千円

【 企画調整部 】

当地区の環境対策(地球温暖化対策等)を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

地区内の清掃活動の実施

【 事業推進部 】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月1回、次のとおり、定期清掃活動を実施します。

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性委員会	桜木町駅前広場	第1水曜日	約15名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク、赤レンガ広場	第2水曜日	約30名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第3火曜日	約130名	公園愛護会



< 新港地区での定期清掃 >

文化・プロモーション事業

55,140 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

まちの魅力発信

インバウンド（訪日外国人）対応

7,000 千円

【事業推進部】

外国人旅行者数は増加傾向をたどり、積極的な受け入れ対策はさらに喫緊の課題となっています。当団体ではシンクタンクのコンサルティングのもと、ホスピタリティ向上を目指した施策として以下のアクションプランを実施して参ります。

外国人を対象としたアンケート調査

インバウンド対応ホスピタリティ研修の実施

みなとみらい21地区のPR活動・情報発信拠点として、コンシェルジュゾーン（インフォメーションセンター）開設準備会を設置

MICE 施設を核としたアフターコンベンション、ユニークベニュー等集客・回遊シナジー施策・仕組みの策定。

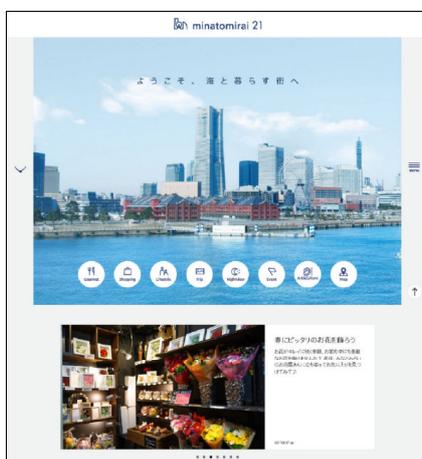
ウェブによる情報発信

8,200 千円

【事業推進部・企画調整部】

「みなとみらい21公式ウェブサイト」は大幅なリニューアルを経て主要な情報発信ツールとして定着してきました。今年度もアクセス内容分析、スマホとの棲み分けといった施策を実施していき改善を継続していきます。同じく「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」の内容強化も引き続き行い、利用者数の増加を促進していきます。

「みなとみらい21地区街づくりサイト」につきましても、リニューアル実施以降主として域内の建物や設備、エリアマネジメント助成等の情報を充実させて参りました。本年度は更に街全体の魅力を情報発信すべく記事更新のみならず全体的な質の改善も図るとともに、昨年度、独立稼働を開始した英語サイトも含めて、随時内容のブラッシュアップを行っていきます。



< みなとみらい21公式ウェブサイト >



< YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ >

広報誌による情報発信

6,000 千円

【 事業推進部 】

- ・ 社団タイアップページ買い取り

平成 30 年度も、街のフリーマガジン『mirea (ミレア)』(「みなとみらい 21 S P 推進委員会」にて制作費一部負担)のページを買い取り、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。



< フリーペーパー mirea >



(mirea 特別編集版)

PR活動の実施

2,800 千円

【 事業推進部 】

平成 30 年度も広域からの来街誘引を図るべく、主要鉄道会社・交通機関の協力のもと、ポスター・チラシ等による広報 PR、情報発信をしていきます。特にボリュームゾーンである都内を中心とする交通系メディアの活用に取り組みしていきます。

「みなとみらいのお土産」についてはノベルティの開発を行っており商品候補の整理を進めています。今後は試験的な販売活動を行う一方、広く募集・発掘作業も行って参ります。

地区プロモーションの調整

6,000 千円

【 事業推進部 】

当団体は地区プロモーション活動の一環として平成 21 年 3 月発足以来「みなとみらい 21 S P 推進委員会」へ参画して参りました。その中で「みなとみらい地区の多様な集客施設の面的な訴求」、「集客エリアとしてのみなとみらい地区の競争力維持・向上」という当初の目的はほぼ達せられた一方、当地区の開発進行に伴い新たな企業が増え、コストの管理・考え方の変化が進み、制度や会の見直しの必要性も生じています。平成 30 年度は同委員会に参画しつつ、より効果的な PR 活動を行う仕組みについて会員皆様の意見を踏まえ見直しも図っていきます。

公共空間の利活用

10,000 千円

【 事業推進部 】

平成 25 年度に発足した「みなとみらい 2 1 公共空間活用委員会」により、公開空地、有効空地、桜木町駅前広場及びグランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施していきます。さらに、平成 28 年度から本格実施したマルシェ「みなとみらい縁市」のほか、野菜販売とキッチンカーによる定期的なマルシェを複数回開催することで定着化を図り、グランモール公園の賑わいを創出していきます。

また、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取組「みなとみらい STREET MUSIC」では、出演者自ら運営する方法を本格実施します。



< みなとみらい縁市 >



< みなとみらいストリートミュージック >

地区イベントの開催

13,000 千円

【 事業推進部 】

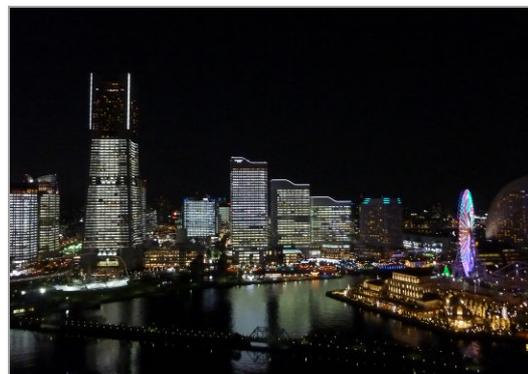
毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」を 4 月に開催すると共に、春のさくらフェスタ、グランモール公園夏祭り、夏の大盆踊りに引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。冬季には、昨年度 21 回目を迎えた「TOWERS Milight ~オフィス全館ライトアップ~」(12 月)について、参加施設と協議しながら実施します。さらに、秋の催事において、横浜市及び大手アニメーション会社とのタイアップ企画を実施します。

その他、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会に積極的に参画します。

また、横浜市が新たに設置する公益信託「みなとみらい 2 1 まちづくりトラスト」の活用について、会員と連携した検討を実施して参ります。



< ヨコハマ大道芸 2017 in みなとみらい 2 1 >



< TOWERS Milight ~オフィス全館ライトアップ >

その他

文化・プロモーション委員会等の運営

400 千円

【 事業推進部 】

- ・文化プロモーション委員会
当地区のPRや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として、年2回開催します。
- ・イベント連絡会
商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月1回、イベント連絡会を開催します。
- ・インフォメーション担当者意見交換会
施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催しています。昨年度は参加施設が増加して、より情報交換が活発化しており平成30年度もインバウンド動向等を中心に更に有意義な場となるよう対応していきます。

ガイドマップの制作

1,240 千円

【 事業推進部 】

新規施設の動向を踏まえ、「みなとみらい21地区ガイドマップ61版」を制作します。

歩行者案内地図サインの更新

500 千円

【 総務部 】

当地区内に設置されている歩行者案内地図サインのうち、当社団が更新を担当する9基について、新規施設等の情報更新を行います。

会員交流事業

6,600 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

地区内情報等の提供

100 千円

【 総務部 】

地区内で行われるイベントやそれにともなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

会員相互交流の機会の創出

2,500 千円

【 総務部 】

会員企業・団体のネットワーク形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、賀詞交換会（1月）や救命講習会（11月ごろ）といった事業を実施します。



< みなとみらい21賀詞交換会の様子 >

みなとみらいかもめ SCHOOL

4,000 千円

【 事業推進部 】

みなとみらい21地区内の就業者を対象として、春学期（4～6月）と秋学期（9～11月）の年2回、就業前あるいは後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。従来の講座から5講座を新講座とし、また、実践で他の参加者との交流がより深めることができる内容の講座を充実させました。より多彩な講座を新設し、魅力あるスクールを実施していきます。

< 参考 : 2018 年春学期講座内容 >

かもめスクール 講座名	
01 横浜と銀行の歴史を知ろう！	10 なぜあの人はわかってくれないのか？ しつもん読書会で考える、私らしい気持ちの伝え方
02 「都市デザイン」って何！？～横濱夜景編～	11 ～プロの写真家と考える～ 観るということ
03 かながわ商店街ツアー～藤棚商店街～	12 天曹洞宗大本山總持寺で参禅体験！
04 小説家・山崎洋子と巡るディープな横浜 ～江戸川乱歩賞受賞作の舞台を巡る～	13 食べて学べる、時短常備菜レッスン
05 横浜の海を知る、海に親しむ	14 日本ナポリタン学会によるナポリタン講座 ～学会認定のレシピを味わってみよう～
06 JICA 横浜で世界とつながろう	15 天空の茶室でお茶体験
07 セルフブランディング ～理想的な自分になるため～（入門編）	16 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！
08 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！ 世界に誇る日本のものづくり	17 JAZZ Bar @ 横浜みなとみらいホール
09 実際にハチミツを絞りながら学ぶ！「株式会社ミツバチ」 ～莫大なハチミツを集める組織の秘密～	



< 2017 年秋講座：みなとみらい昭和文庫と
楽しむ昭和カルチャー >



< 2017 年秋講座：絵画修復基礎講座 >

横浜都心電波対策事業**101,270 千円**

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

電波障害対策事業の実施**88,550 千円****【 企画調整部 】**

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

- ・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）
55-1 街区、44 街区、43 街区の電波障害シミュレーション及び開発状況に応じた事前・中間の実態調査
- ・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等
54 街区ほか

横浜都心電波対策協議会負担金**12,720 千円****【 企画調整部 】**

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費及び平成30年度に実施する開発者負担金ルールの係数見直し（3年ごとに実施）のための調査経費として負担金を支出します。

「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

公有財産及び広告・イベントスペースの運用

67,100 千円

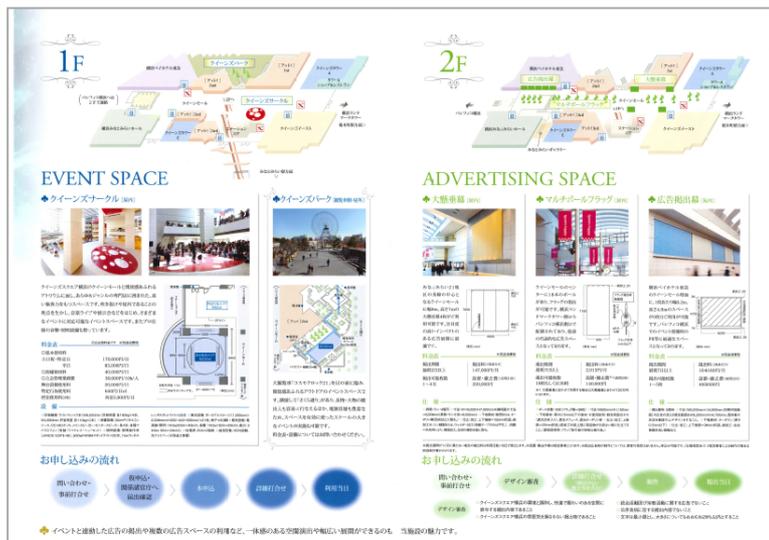
【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、引き続き利用率の向上に取り組みます。



< クイーンズサークルでのイベントの様子 >



< 広告・イベントスペースご利用ガイド >